

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	養父市 (28222)
地域名 (地域内農業集落名)	奥米地 (奥米地)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	8.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.5 ha
② 田の面積	8.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	4.6 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.7 ha
(備考)遊休農地面積〇〇ha(うち1号遊休農地〇〇ha、2号遊休農地〇〇ha) ⑤は、〇〇市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、円山川の支流である米地川上流部に位置している。米地川は古くからゲンジホテルの生息地として知られており、旧養父町の時代から「人と自然との共生」を基本理念に「ほたるの里づくり」を推進し、地域活性化に取り組んできた歴史のある地域である。地域住民の地域づくりや自然環境に配慮した農業の推進の意識も高い。農地は昭和57年～62年に圃場整備事業に取り組み、約10.0haを整備。一区画 0.10ha～0.20haの農地が整備され、水稻と和牛飼育を中心に営農してきた。近年は水路の老朽化による漏水や耕作条件の悪い農地は休耕する農地が増えつつあり、和牛飼育農家が途絶えたため牧草作付けによる農地管理もできなくなった。各農家の経営規模は0.2ha程度であり、主たる職業がある兼業農家と定年退職後に所有農地で農業に専念する高齢者が主となっている。以前は畜産農家が数戸あったが現在は稲作農家が中心であり農業の生産性も低い。近年、農業者の高齢化が進み後継者のいない農家も多数あるが、できる限り農業を継続したい意向の農業者が多い。今後も農業者の高齢化が更に進み、遊休農地や荒廃農地の更なる増加が懸念されるが、農業者の意向を尊重しつつ、農地の効率的な利用を図っていくためには、毎年、農地利用を確認検討する仕組みや地域内で規模拡大する農業者の育成と地域住民などを交え地域全体で農業者支えていく仕組みの構築、高価な農業用機械の共同利用、農業用水路等の再整備が喫緊の課題である。このため、後継者不在の高齢者農家が離農する事態が生じた場合、新たな農業者(担い手)が速やかにその農地が利用できる「農地バンク制度」の活用と分散する農業者(担い手)の農地の集約化に向けた農業者の理解を図り、自然環境に配慮した農業の更なる推進、農業機械の共同購入や利用方法を検討していく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域で育ててきた「ほたるの里づくり」の理念に沿ったブランド米生産や単位目面積当たりの所得増が見込める「あさくら山椒」「ニンニク」「但馬ピーマン」への転換が考えられる。いずれにしても、中心となる担い手が地域内に存在していないことから「ほたるの里づくり」の理念に賛同してもらえる企業の参入を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農道や水路と獣害対策の網の維持・管理には地域を挙げての共同活動が必要なことから、多面的機能支払交付金制度の対象エリアを将来に渡り農地利用する区域とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現役で農業を継続したい高齢農家が多数あるため、その意向を最大限尊重する。 これらの農業者がスムーズに後継者や農業を担う者、担い手に農地を継承していくため、農地中間管理事業(農地バンク制度)の周知と利用を推進する。そのため、毎年、農会総会において耕地利用状況を把握する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
現役で農業を継続したい高齢農家が多数あるため、その意向を最大限尊重する。 これらの農業者がスムーズに後継者や農業を担う者、担い手に農地を継承していくため、農地中間管理事業(農地バンク制度)の周知と利用を推進する。そのため、毎年、農会総会において耕地利用状況を把握する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地域の農地全体を農地バンクに貸し付け農地集積を進め、農業を担う者の経営意向を踏まえて段階的に集約化する。その際、地区の農会役員、農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
用水路からの漏水、山際の排水路への土砂や石の堆積が問題となっている。企業参入を含め、しっかりとした担い手が確保できた時点で、パイプライン化や畑地化を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
市やJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集する。特にゲンジボタルの生息環境を守る農業生産活動を観点でのSDGSへの貢献意識の高い企業参入を広く募集する。 企業等へは栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や農地の幹旋等の支援を行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地元JAには、他地区のようなJA子会社による営農、作業請負は行っていないため、地区内の農業者や近隣地区の業者等の担い手へ委託し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

<p>【選択した上記の取組内容】</p> <p>① 平成15年から鳥獣害対策として獣害柵の設置しており、毎年、役員による点検の後区内全戸で補強・補修作業を行っている。全体として対応年数が過ぎており、老朽化が目立つため、再整備に活用できる補助事業が制度化されれば活用する。</p> <p>② ゲンジボタルの生息地であることから、今後も人と自然環境にやさしい農業を推進していくため、有機質肥料の使用を主体に減農薬に配慮した農産物生産に取り組む。</p> <p>③ 農業従事者の高齢化と減少により、農業生産の省力化を進めていく必要があり、ドローンによる防除やリモコン式除草機の導入を図り、農作業の効率化を検討する。導入に当たっては機器の共同利用等も検討する。</p> <p>⑦ 令和7年度に見直す奥米地多面的機能支払い交付金制度計画の方針と取組計画により、保全、管理を進める。</p> <p>⑧ 長寿命化計画に基づき、改良、補修を行う。</p>
---

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和○年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	40	うち計画同意者数(人・%)	32 (80%)
-------------	----	---------------	----------

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
1	利用者		水稲・野菜	0.607 ha	0 ha	水稲	0.649 ha	0 ha	緑・灰	
2	利用者		水稲	0.160 ha	0 ha		0.000 ha	0 ha		
3	利用者		水稲	0.082 ha	0 ha		0.000 ha	0 ha		
4	利用者		水稲	0.141 ha	0 ha	水稲	0.264 ha	0 ha	緑	
5	利用者		水稲	0.295 ha	0 ha	水稲	0.295 ha	0 ha	緑	
6	利用者		野菜	0.037 ha	0 ha	水稲	0.037 ha	0 ha	緑	
7	利用者		水稲	0.552 ha	0 ha	水稲	1.136 ha	0 ha	青	
8	利用者		水稲	0.453 ha	0 ha	水稲	0.453 ha	0 ha	緑	
9	利用者		水稲	1.047 ha	0 ha	水稲	1.047 ha	0 ha	水	
10	利用者		野菜	0.090 ha	0 ha	水稲	0.090 ha	0 ha	緑	
11	利用者		水稲	0.524 ha	0 ha	水稲	0.524 ha	0 ha	灰・緑	
12	利用者		野菜	0.069 ha	0 ha		0.000 ha	0 ha		
13	利用者		水稲	0.123 ha	0 ha	水稲	0.000 ha	0 ha	緑	
14	利用者			0.000 ha	0 ha	水稲	0.160 ha	0 ha	緑	
15	利用者		水稲	0.698 ha	0 ha	水稲	0.456 ha	0 ha	緑	
16	利用者		野菜	0.075 ha	0 ha		0.000 ha	0 ha		
17	利用者		水稲	0.393 ha	0 ha		0.010 ha	0 ha		
18	利用者		水稲	0.300 ha	0 ha		0.234 ha	0 ha		
19	利用者		水稲	0.351 ha	0 ha	水稲	0.351 ha	0 ha	緑	
20	利用者		水稲	0.216 ha	0 ha	水稲	0.279 ha	0 ha	緑	
23	利用者		水稲	0.050 ha	0 ha	水稲	0.050 ha	0 ha	緑	
24	利用者	地味 で音ん	野菜	0.052 ha	0 ha	水稲	0.127 ha	0 ha	緑	
25	利用者			0.000 ha	0 ha	水稲	0.532 ha	0 ha	緑	
26	利用者		水稲	0.230 ha	0 ha		0.000 ha	0 ha		
27	利用者		水稲	0.187 ha	0 ha	水稲	0.187 ha	0 ha	緑	
28	利用者		水稲	0.522 ha	0 ha	水稲	0.386 ha	0 ha	緑・灰	
29	利用者		水稲	0.321 ha	0 ha	水稲	0.283 ha	0 ha	緑	
30	利用者		水稲	0.289 ha	0 ha	水稲	0.289 ha	0 ha	緑	
31	利用者		水稲	0.149 ha	0 ha	水稲	0.149 ha	0 ha	緑・灰	
32	利用者			0.000 ha	0 ha	水稲	0.095 ha	0 ha	緑	
33	利用者		水稲	0.137 ha	0 ha		0.000 ha	0 ha		
		33経営体		8.15 ha	ha		8.08 ha	ha		